

Rainbow Project 日本語版 会話：旅館編はしがき

旅館へのチェックインから、部屋でくつろいだ後、観光に出かけるという設定で、旅館三河屋、どぜう飯田屋、浅草花やしきの協力のもと、撮影しました。撮影時間や他の客が映り込んではいけないなど様々な制約の中、学生がその時にできる全力を尽くしてくれたと思っています。

旅館編は、監修者が執筆した『旅のお供に今すぐ使えるトルコ語入門』（勉誠出版、2006）をもとにアレンジしています。（→の先が本教材でのタイトルです）

第7課 ホテルにてーチェックインしましょうー

※ホテルでチェックインするという設定。

・旅館編では、上述の内容を以下の設定にアレンジしました。

→ **チェックインお願いします。**（観光客チェックイン）

→ **お世話になります。観光客です。**（団体客チェックイン）

※個人客のチェックインと、団体客の代りに添乗員がまとめてチェックインする設定。

第6課 ガイドさんに会うー自己紹介をしましょうー

※ガイドに現地の言語で自己紹介をするという設定。

第8課 観光地にて(1)

※ガイドにどこに行くかを尋ね、観光地に出かけるという設定。

第14課 お礼に食事に誘う(2)

※ガイドにお礼として食事に誘い、一緒に食事をするという設定。

・旅館編では、上述の内容を以下の設定にアレンジしました。

→ **行きたいところがありますか？**（自己紹介）

※外国人ツアー客が互いに自己紹介をし、どこに行きたいかを話しているという設定。

→ **晩ごはんどうする？ 名物を食べよう。**

※日本人ツアー客がフロントで尋ねた後、どじょう鍋を食べに行くという設定。

→ **観光したいんですが、おすすめはどこですか？**

※外国人観光客がフロントでお勧めの観光地を聞き、どこに行くかを決めるという設定。

→ **私たちも行きたいんですが、場所がよく分からなくて。**

※外国人ツアー客が行きたいところを相談したが、場所が分からないので、ロビーにいた日本人ツアー客と一緒に花やしきに行くという設定。

旅館編では、フロント役のセリフが最も多い主演となっており、大阪方言話者の添乗員、東京方言ではない母方言の特徴を若干残した共通語、外国人観光客の日本語がとびかっています。本教材では共通語同士の会話は主たる位置づけではなく、さまざまな言葉が入り混じった会話の聴解という観点から制作しております。

カット割りについては、都電編と同様にそれぞれのカットをつないでストーリー仕立てにしてみました。そのせいで学芸会感が増しているのは否めないのですが、また、今年度はロケ地が 3 か所だったので、打ち合わせから含めて半日にわたる撮影となりました。現場では撮影できるところと時間が限られているので試行錯誤していますが、まだまだ至らぬ点については課外活動の一環ということでご海容ください。

大東文化大学外国語学部日本語学科
福盛貴弘